



高島町

大切なペットへの、
想いとやすらぎを。

犬猫

やすらぎの郷公園

高安犬猫やすらぎの郷運営委員会

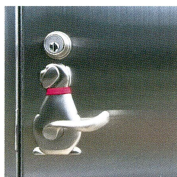


施設配置案内図

納骨堂

ペットの焼骨を合葬式で収蔵する施設です。
犬用と猫用の2つの納骨口があります。納められた焼骨はお返すことはいたしません。一定期間が経過後にご供養のうえ自然にお帰しします。

納骨口 犬用



納骨口の扉

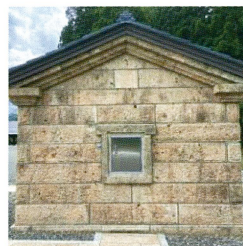


犬用の納骨口(側面左)

納骨口 猫用



納骨口の扉



猫用の納骨口(側面右)



犬の宮



猫の宮



納骨口

納骨口

納骨堂

メモリアルプレート表示壁

東屋

メモリアルプレート表示壁

ペットの写真や名前を表示した特製プレートを貼付し、ご家族の想いを遺すものです。繰り返しご来場いただき、在りし日のペットの面影に触られます。

貼付期間は5年間としており、更新により延長することができます。

東屋

ご来場された方の休息施設です。自由におくつろぎいただけます。



施設利用のご案内

✓ 申込受付時間 10:00～16:00 月～金

✓ 施設利用時間 10:00～16:00 **基本**

※利用日時の調整が必要のため要相談



納骨堂

10,000円

永年供養 / 体

納骨堂のご利用、「犬の宮」「猫の宮」の別当による法要、諸経費（花代、線香代など）が含まれます。日時は事前にご相談ください。

犬・猫以外の小動物もご利用いただけます。

詳しくは、お問い合わせください。



※ご利用日時に調整したうえでご準備しますので、当日のキャンセルは、キャンセル料7,000円をご請求いたしますので、ご注意ください。

メモリアルプレート表示壁のご利用

10,000円

5年間更新 / 体

1区画（横25cm×縦15cm）内に、メモリアルプレートを5年間貼付する利用料となります。



大切な
家族の姿を
プレートに。



追加
料金

メモリアル
プレート作製

4,000円

横15cm×縦7.5cm
アクリル製（ペットの写真入り）

プレート代理
貼付作業料

1,000円

飼主に代ってメモリアル
プレートの貼付作業いたします。



メモリアルプレート

※サンプル画像です。実際の仕上がりとは異なる場合があります。

ペットの写真と名前などを、プリントしたプレートを作製します。申込から完成まで約10日を要しますので、貼付予定日に合わせてお申し込みください。

東屋のご利用

無料

ご自由にご休憩ください

休息施設のため、ご自由にご休憩いただけます。
ただし、行事や事業などご利用を希望する場合は、事前に下記の町商工観光課へご連絡願います。

☎ 町商工観光課 0238-52-4482



高島町犬猫やすらぎの郷公園管理運営

高安犬猫やすらぎの郷運営委員会

〒992-0313

山形県高島町大字高安911 カフェギャラリー「美蔵」内

ご利用にあたって、ご不明な点があれば事務局へお問合せください。

TEL 090-8783-5812

FAX 0238-52-3856

Mail dogcatyasuragi@ya.ncv.jp

受付時間 10:00～16:00 月～金

Google マップ™





高畠町犬猫やすらぎの郷公園管理運営

高安犬猫やすらぎの郷 運営委員会



〒992-0313

山形県高畠町大字高安 911
カフェギャラリー「美蔵」内

こようすワンニャン

TEL 090-8783-5812

FAX 0238-52-3856

Mail dogcatyasuragi@ya.ncv.jp

受付 10:00~16:00 月~金



Google マップ™



Instagram



Facebook



LINE



「チンは高安犬としての純血を保っていた最後の犬だった」
の書きだして始まる『高安犬物語』（動物作家：戸川幸夫氏）
の直木賞受賞作の舞台になったところで、安産と無病息災の
神としても知られ、犬をまつている社としては全国でも珍
しく愛犬の健康と供養に訪れる人も多い。

和銅年間（708～711）、都の役人になりすました古狸が、「年貢の代わりに子どもを差し出すように」と言い村人は大変悲しみ困っていた。ある年、文殊堂帰りの座頭から、三毛犬と四毛犬を借り、様々な知恵を授かった村人は、役人を酒席に招き、酔いが回ったところに2匹の犬を放った。

2匹の犬によって、古狸は倒されるが、まもなく犬も死んでしまった。「村の大難を救ったこの犬を村の鎮守とせよ」という座頭のお告げにより、崇めまつったものが犬の宮の由来とされている。



犬の宮に対座する猫の宮は昔、養蚕の神として信仰が
あつかった。一方、猫などのペットの神としても知ら
れ、ペットの健康祈願や供養に訪れる人も多い。

延暦年間（781～805）（中略）夢枕に観音菩薩が現れ「猫を授けるから大事に育てよ。」とのお告げがあり、翌朝庭に三毛猫が現れ、夫婦は大いに喜び、玉と名付けそれはそれは子供のように大切に育てていた。

（中略）70 数年前に三毛犬、四毛犬に殺された古狸の怨念の血をなめた大蛇が、いつかいつの日か仕返しをしようとしていたが、玉が守っているため手出しできなかったのだった。

（中略）村の安泰を守ってくれた猫のなきがらを手厚く葬り、堂を建て春秋2回の供養を行ったという。

